

下田市ロケーションサービスにより映画、CM、ドラマ等ロケ誘致や支援を行い、本市の魅力発信、認知度の向上、来遊客の増加に努めます。

駿河湾フェリー運航においては、県、3市3町、関係機関等と連携し、利用者の増加に努めるとともに、本市のPRを行います。

道の駅開国下田みなとを中心としたまどが浜海遊公園から下田市街地までの「みなとまちゾーン」の活性化に向けて、県や関係機関と連携し、交流とにぎわいの拠点とするための具体策を検討します。

インバウンド対策としては、美しい伊豆創造センター等と連携し、台湾、タイにおいて開催される観光展でのPR、世界20か国に事務所を持つ日本政府観光局（JNTO）の海外ネットワークを活用し、マーケティング情報等を収集するとともに、観光情報の発信を行い、訪日外国人旅行者の誘致に努めます。

国内においては、首都圏等での観光イベントに参加し本市をPRするとともに、ホームページ、フェイスブック等を活用し、本市の魅力を発信します。

②第5次下田市総合計画の策定

昨年度から2か年をかけて、次期計画の策定作業を進めています。これらの計画は、本市のまちづくりの基盤となることから、事業の実施状況や目標値に対する評価、計画の達成度等を分析することにより、本市の実相を明らかにし、将来に向けた明確なビジョンと具体的な方策を盛り込んだ計画とするよう、的確な策定作業を進めます。

③中学校再編整備

通学方法や部活動の在り方、校章、校歌などを検討し、魅力的な教育環境の創出に努めます。また、下田中学校の大規模改修工事を進め、新体育館等の整備に着手し、再編に伴う下田中学校の建設工事を推進します。

広域連携

○賀茂地域広域連携会議

糖尿病等重症化予防事業、賀茂地方税債権整理回収協議会、賀茂広域消費生活センター、地籍調査事業等の共同実施を継続し、体制強化を図ります。

②産業振興策

農林業では、新たな農業展開の検討、里山整備や竹等地域資源の活用による美しい里山づくり事業を推進します。また、森林環境譲与税を活用した森林整備にも取り組みます。

水産業では、下田市魚市場等整備計画支援事業を行うとともに、沿岸漁業の発展を図り、稚貝、稚魚の種苗放流事業に助成し、水産資源の育成と活用拡大に努め、水産物の安定供給を推進します。また、下田港の漁獲水揚げ高の増加による漁協経営の安定化及び市内経済の活性化を図り、外来漁船団の誘致を推進します。

商工業では、美味しいまちづくりプロジェクトや地域ブランドディング推進事業により商工会議所や商店会連盟等と連携した地域活性化事業の充実を図るとともに、住宅リフォームに対し助成を実施します。

③経済活性化

昨年に取組を開始したワーケーション事業の一層の推進を図り、都市と地元企業の交流による新たなビジネスの創

出を促すとともに、市内で増加している空き施設等について、企業誘致、起業支援、交流居住等への活用を検討し、官民が一体となつて事業を推進します。これらの事業により、移住者等が増加し、人口減対策の一助として期待されます。

ふるさと納税制度と連携した取組として、地域の特産品や地域資源を活用し、魅力的な返礼品の開発を進め、地域経済の活性化とふるさと応援寄附の増加を目指します。

旧町内においては、周遊ルート的美装化、歴史的建造物の保全に関する助成など、固有の風情や歴史を活用したまちづくりに努めるとともに、庁舎跡地を含めた伊豆急下田駅周辺地区の整備基本構想の実現に向けて事業を推進します。

◎防災対策事業

①ハード事業

気象災害、地震・津波災害に対し、市民の生命と財産を守り、安心安全のまちとするため、盤石な防災体制の確立を目指します。

備や機運醸成を図り、レガシの構築に努めます。

○道路整備

・伊豆縦貫自動車道及びアクセス道路

伊豆縦貫自動車道の早期開通に向けて、要望活動に取り組みとともに、用地交渉、関係機関との連携等に取り組みます。また、県道河津下田線などの幹線道路の整備促進を図ります。

・都市計画道路

都市計画道路整備プログラムに基づき、整備を進めます。特に、都市計画道路武浜横枕線のうち、新下田中学校への通学路となる区間は、優先整備すべく道路管理者と引き続き協議を進めます。

・生活道路

各地区からの要望に基づき、着実に生活道路の維持改良を進めます。

○港湾整備

下田港は、避難港の指定を受けるなど、重要な港湾として位置づけられています。が、避難港から脱皮して、本市の経済活性化に寄与する整備、利活用が必要です。当面は、民間事業者が予定している下田ドック跡地の開発や県が予

同報系防災行政無線のデジタル化について、引き続き整備を進めます。また、台風により甚大な被害を受けた敷根避難路の早期復旧、消防団の強化を目的としたポンプ自動車等の整備並びに統合に向けた詰所の設計等を行います。

橋梁長寿命化修繕計画に基づき引き続き、ゆのもと橋の補強工事等に取り組みます。国道414号沿線の建築物の耐震化に対する補助制度を拡充し、道路閉塞の未然防止対策を進めます。

浜崎小学校屋内運動場の改修工事を実施するとともに、小学校のトイレを改修し、避難所としての機能を強化します。白浜調整池の耐震診断を実施するとともに、下水道事業においては、武方浜地区の管渠耐震工事を実施します。

②ソフト事業

稲生沢川における1,000年に1度の想定最大規模降雨以上による浸水想定等を反映させた土砂災害・洪水ハザードマップを4月に全戸配布するほか、津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波災害警戒区域の指定に向け

定している係留施設の整備に協力し、将来的には外防波堤完成後の福浦東防波堤等の利活用を踏まえた新たな下田港港湾整備基本構想の策定について検討します。

○教育振興

小学校教育に関しては、新学習指導要領の導入に伴い必須化となる、外国語科・プログラミング学習に対応するため、外国語指導助手を活用した授業時間を増加し、プログラミング教材を活用するなど、高度情報化社会の到来等を見据え、子どもたちに確かな生きる力を育みます。

中学校教育においては、再編に向けた4中学校の交流事業に取り組みとともに、夏季期間に冷房設備を借り上げ、生徒の健康を守り、安心して学習に取り組める環境整備を進めます。

○国際交流

姉妹都市ニューポート市との交流やオリンピック・パラリンピックホストタウン事業を通じて、日米の友好関係の発展に努めます。また、ロシア連邦との友好交流事業として慰霊祭等を開催し、児童・生徒による在日ロシア大使館

て取り組んでおり、浸水深だけでなく、同法に規定される基準水位を反映させた津波ハザードマップの周知を行います。また、地域防災計画に南海トラフ地震臨時情報への対応を反映させます。

大規模自然災害等に備えた強靱な地域づくりを推進するため、国土強靱化地域計画を策定します。また、自助・共助の充実を図るため、防災訓練・講座の充実、自主防災組織強化の支援を実施します。

3本の柱以外の重要課題

①新庁舎建設

新庁舎建設設計・工事監理業務及び基本設計再構築業務に基づき、昨年度は、土地収用法に基づく事業認定を受けた後、建設部分の用地について11月に取得が完了しました。並行し進めていた実施計画を基に入札を行いました。一部落札まで至りませんでした。設計の調整・見直しを行い、今年度の着手、令和3年度末の竣工、令和4年度初旬の供用開始に向けて事業を進めます。

付属学校との交流を進めます。

○図書館の移転

○図書館の移転

図書館の移転に関しては、基本構想策定に向けた準備を進めます。

○事務・事業の効率化

第6次行財政改革大綱が最終年度を迎えるに当たり、次期5か年においてより効率的な市政が実現できるように第7次行財政改革大綱の策定を行います。

公民館の統合や中学校の再編整備により用途廃止となる施設等について、今後の対応について検討を進めます。

以上、今年度の所信の一端を申し上げましたが、市政を司るに当たり、「虚・心坦懐」「公論傾聴」「先見洞察」「熟慮断行」を座右の銘とし、「市民の心をわが心として」の初心を忘れることなく、市役所職員、一致団結して、能動的に事業を執行し、もって市民の負託に応えていく所存でありますので、市民の皆様並びに議員各位の市政に対する温かい御理解、御協力と御鞭撻を賜るよう、衷心からお願いするものです。